

# ひだまり

 暖心苑  
経営理念

令和1年6月30日 発行 第66号

〒134-8625 東京都江戸川区北葛西4-3-16 暖心苑

- 一. 暖かい心と笑顔で、利用者の立場に立った満足度の高いサービスを提供します。
- 一. 利用者の皆様が、生きがいのある安全で安心した生活が送れるよう自立を支援します。
- 一. 地域との連携により、熟年者等の福祉・健康づくりを推進します。
- 一. 専門的な知識と技術と至誠のある職員を育成します。

## くつろぎの間(認知症対応型デイサービス) 制作



5月1日に間に合うように作成しました。  
コロコロとまとめるのはみなさんととても上手です！



## ふれあいホール(一般型デイサービス) 制作

- ◆おしゃべりしながらやったよ！
- ◆色合いに気がついた。  
令和が目立つように作った。



- ◆やってる時、みんなとしゃべりながらやって楽しかったよ！
- ◆作っている時は大変でも出来たら素晴らしくできて良かった。



## 平成三十年度事業報告(概要)

東京清音会の平成三十年度決算及び事業報告は五月開催の理事会において承認され、六月開催の評議員会において決算及び事業の報告行われ承認されました。

施設経営にあたっての「法人のビジョン」及び「経営理念」に沿った基本方針・事業計画に基づき次の事業サービス活動を行った。

### 一 事業経営の実績

○特養部門は入所者の体調不良、重症化で入院者が多く、目標値を達成できなかった。ショートステイ部門については新規利用者の増加、こまめな入所調整等により目標利用率を達成した。

○デイサービス部門 一般・認知症通所介護については、体調不良等により長期入院・療養で休む方やショートステイ利用者施設入所者が多く、一般通所介護は目標利用率に達しなかったが、定員を増やしたことにより述べ利用者数が増加、認知症通所介護は、利用目標に達しなかったが、前年度より利用率増により、収入は、それぞれ前年を上回った。

○地域包括支援センターについては、地域で暮らす熟年者からの保健・医療・福祉・認知症などの様々な相談に対応した。配食サービスについては、地域包括支援センターやケアマネジャーに対しPRを行い利用者増となった。

○居宅介護支援事業については、医療依存度の高いケースや困難ケースを積極的に受け入れ新規プラン作成に努めケアプラン数は増加した。

○江戸川区受託事業であった熟年ふれあいセンター・いきいきトレーニングが二十九年度終了に伴い対前年度比減収となった。

### 二 利用者サービスの質の確保と向上

#### (1) 安全対策

#### ア 事故予防対策

事故予防対策として「事故発生の防止及び、発生時の対応指針」に基づき、リスクマネジメント委員会が核となり関係職種職員が連携して、職員への周知徹底・教育を図った。

#### イ 感染症管理対策の実施

感染症の予防に努め、インフルエンザが一時大流行した為、予防タミフル利用者・職員用に購入。職員十名がいずれもインフルエンザA型を発症したが、施設内で利用者および短期入所者は発症せず、施設内で蔓延する事はなかった。

#### ウ 身体拘束廃止への取組み

柵による拘束者の対応を検討し、平成三十年十二月に柵外しを実施したことから、実質身体拘束者はゼロとなった。

### 工 災害対策

消防計画に基づき各種防災訓練を実施した。九月は自衛消防訓練審査会に出場し敢闘賞を受賞。災害時用の備蓄品については浸水被害を想定し一部上階へ保管することとした。一月は応援協定を締結している、社会福祉法人むつみ会「春陽苑」と合同訓練を実施し協力関係を強化した。二月には江戸川区とSNSを利用し災害時情報伝達訓練を実施する等、外部との連携強化を図った。

#### (2) 利用者への医療対策

#### ア 医療・看護体制

非常勤医師による健康管理を週四回行った。協力医療機関と連携して入院治療及び専門外の診療科への受診・往診等により、利用者の疾病予防及び治療に努めた。また、看護職員の夜勤体制のほか、必要に応じて協力病院・近隣病院を受診した。

#### イ 看取り介護の実施

「看取り介護に関する指針」に基づき、最期の時まで穏やかに過ごして頂けるよう、利用者本人の意思及び家族の意向を最大限に尊重し、看取り介護を実施した。

#### ウ 褥瘡予防への対応

「褥瘡対策指針」に基づいて、看護・介護職を中心に早期の褥瘡・皮むけ発見・予防及び治癒に努めた。

### 三 事業運営の透明性の確保

#### (1) 財務諸表等の公表

法令に基づき、情報公開、情報開示として、施設内掲示やホームページ等に定款・役員報酬規程、事業報告決算報告書、現況報告書を公表するなど、経営の透明化に努めた。

#### (2) 第三者評価（利用者調査）の実施

第三者評価機関による「福祉サービス利用者調査」を平成三十年九月～十一月に実施した。調査結果をうけて関係各委員会において改善への取組みを行った。

#### (3) 介護サービス情報の公表

平成三十年七月に基本調査書を提出し、平成三十年八月に基本的な施設情報および調査情報を「とうきょう福祉ナビゲーション」に公開した。

### 四 地域との連携強化

#### (1) 地域支援ネットワーク事業の推進

地域行政機関・団体及び地域住民等の多様な社会資源と協働しながら、地域の実情に応じた総合的な介護予防・支え合いを実践するため地域包括視線センターを核とした地域支援ネットワーク事業を実施した。

(介護予防教室 十二回・民生委員との懇談会 二回・介護者交流会 二十四回・サービス事業者情報交換会 六回・地域交流委員会 五回)

#### (2) 地域への貢献活動

地域の熟年者福祉団体（おしゃべりクラブ）に施設・設備を開放し、昼食や有益情報の提供、各種教室の開催や訪問の受け入れ等を行い、その活動を支援した。（月一回）

#### (3) ボランティア・見学者・実習生等の受入れ

地域に開かれた施設として、①ボランティア活動 ②小学生・園児の体験学習 ③養成校等の実習生の受入れを積極的に行った。また、ボランティア交流を兼ねた「感謝の集い」を実施、暖心苑の創立三十周年という事もあり、長年お世話になっている方々への表彰も行った。

ボランティア活動ノートの活用や個別に要望等を相談し、特養・デイサービス共に積極的な受入れを行った。活動人数は大幅に増加傾向だが、養成校等の実習受入れについては、少子化で学生が減少している影響もあり、二十九年度と比べ減少している。小学校・園児等の訪問については、感染症の多い冬期を除き予定通り実施し、二十九年度より人数については増加している。

### 五 苦情への対応

個別相談、特養事業である利用者・家族懇談会及びアンケート調査、第三者委員の巡回により相談、苦情等の把握に努めた。苦情申出については、特養及びショートステイ、デイサービスについて申出はなかった。第三者委員の活動については、特養の事業である家族懇談会への参加、広報誌の掲載により利用者、家族への周知に努めた。

### 六 人材育成・専門性の向上

職場内の人材育成と職員の介護技術・専門知識の向上を図る為、各種の施設内研修三十七回（延べ一七五名）、外部研修六十回（延べ四十九名）を実施した。

### 七 開設三十周年記念行事

暖心苑開設三十周年を記念して、各種祝賀行事を開催し、利用者・ボランティア・役員により三十周年をお祝いした。

### 八 空調設備更新工事

老朽化していた空調設備が故障したため、緊急工事案件として全館の空調設備更新工事を実施した。

### 九 ICT導入工事

業務改善により良質なサービスを提供するため、ICT導入に関する工事等を実施した。

# 平成30年度 決算報告

(単位:円)

貸借対照表(総括)			
勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金預金	311,130,665	事業未払金	189,067,696
事業未収金	204,497,518	未払費用	85,136,890
立替金	106,204,902	預り金	11,019,654
仮払金	305,230	職員預り金	1,837
	123,015	賞与引当金	7,039,315
			85,870,000
固定資産		固定負債	
土地	1,882,277,645	退職給付引当金	56,220,516
建物(基本財産)	643,831,622		56,220,516
	303,438,993	負債の部合計(A)	
			245,288,212
建物	116,087,593		
構築物	4,842,118	第一号基本金	990,902,019
車両運搬具	2,843,654	国庫補助金等特別積立金	263,875,876
器具及び備品	31,186,184	その他の積立金	651,196,965
建設仮勘定	72,170,000		
権利	460,000		
退職給付引当資産	56,220,516		
施設建替資金積立資産	358,000,000		
修繕積立資産	140,361,965		
施設整備積立資産	66,800,000		
備品等購入積立資産	40,035,000	次期繰越活動増減差額	42,145,238
人件費積立資産	46,000,000	(うち当期繰越活動増減差額)	-25,685,486
		純資産の部合計(B)	
			1,948,120,098
資産の部合計		負債・純資産の部合計(A)+(B)	
	2,193,408,310		2,193,408,310

事業活動計算書(総括)				
勘定科目	金額	勘定科目	金額	
サービス活動増減の部	施設介護料収益	433,317,008	サービス活動増減の部	
	居宅介護料収益	91,109,921	受取利息配当金収益	71,614
	地域密着型介護料収益	24,021,510	その他のサービス活動外収益	4,634,660
	居宅介護支援介護料収益	36,519,629	サービス活動外収益計④	4,706,274
	介護予防日常生活支援収益	11,159,522	支払利息	16,680
	利用者等利用料収益	114,706,487	その他のサービス活動外費用	4,382,890
	その他の事業収益	56,737,063	サービス活動外費用計⑤	4,399,570
	経常経費寄附金収益	1,445,350	サービス活動外増減差額⑥=④-⑤	306,704
	サービス活動収益計①	769,016,490	経常増減差額⑦=③+⑥	-25,641,158
	人件費	574,682,530	特別増減の部	
	事業費	110,262,994	施設整備等補助金収益	0
	事務費	87,375,257	特別収益計⑧	0
	利用者負担軽減額	93,068	固定資産処分損	44,328
	減価償却費	43,765,621	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却)	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-21,215,118	特別費用計⑨	44,328
			特別増減差額⑩=⑧-⑨	-44,328
		当期活動増減差額⑪=⑦+⑩	-25,685,486	
		前期繰越活動収支差額⑫	660,724	
		当期末繰越活動増減差額⑬	-25,024,762	
		その他の積立金取崩額⑮	72,170,000	
サービス活動費用計②	794,964,352	その他の積立金積立額⑯	5,000,000	
サービス活動増減差額③=①-②	-25,947,862	次期繰越活動収支差額⑰=⑬+⑮-⑯	42,145,238	



## 特養 環境班の活動の紹介

環境班は毎日ご利用者に少しでも快適に生活していただけるよう日々活動しています。

活動内容は居室環境の整備や共有スペースの清掃を各居室担当に呼びかけ、きちんと行っているかを環境班がチェックをしています。職員が使用する給湯室、寮母室、冷蔵庫などの清掃も職員に呼びかけ定期的に行っています。また夏掛け布団、冬掛け布団の交換時期がきたら収納日、交換期間などを各フロアにお知らせし、季節に合わせて使用する加湿器、扇風機の管理も環境班が行っています。

他にも環境新聞を作成してご利用者やそのご家族に、苑で行っている環境を良くするための取り組みや情報を各階に掲示しています。どれも一見地味な活動内容ですが、大切な仕事なので今後も責任をもって、活動に取り組んでいきます。

### ～今年度の目標～

平成30年度の環境班では、「毎日を綺麗な顔で過ごしていただく。」を目標に掲げ取り組んでいます。この新聞では各フロアでの住環境整備・整容面での取り組みの様子を載せたり、良い取り組みをしている職員の紹介等を行っていきたくと思っています。又、この新聞が**職員の意識向上**に繋がることも目的としています。

### 冷え対策？寝るとき靴下を履いた場合の効果と注意点

寝るときに靴下を履くと暖かくて良く眠れる、冷え対策としてという話をよく聞きます。しかし、寝るときに靴下を履くとかえって足を冷やすことになるという説もあります。



寝るときに靴下を履くメリットとして、寒さや足の冷えから身体を守る効果、着圧ソックスなどで足のむくみをとる効果があります。靴下を履くことで、足の冷えを感じずにすぐに寝つくことができたとの声も多く聞かれます。また、かかとケアのために靴下を履いて寝るといふ方も見られます。年齢を重ねていくうちに、乾燥したり、紫外線の影響を受けたりでいつの間にか、ガサガサになってしまっていることも。そのままにしていると、冬場などの乾燥した季節に、ひび割れなどを引き起こしかねません。

デメリットとしては、靴下はピッタリと足に密着しているものが多いので、熱がこもって逃げられなくなります。そのため、必要以上に汗をかきやすく、そのかいた汗が足の体温を吸収して外に逃がそうとするために、かえって足を冷やすことになってしまうのです。また、靴下の口の部分のゴムがきついと一晩中足首を締めつけていることになり、血行にも良くなさそうです。

### ～まとめ～

せっかく身体や足を暖めたい、良い睡眠をとりたいと思って靴下を履いて寝ても、いくつかのポイントを押さえていないと逆効果になってしまいます。まずは、素材に注意しましょう。汗を吸い取る「吸湿性」が高く、吸った汗を逃がす「放湿性」に優れている素材が良いです。少し高価ですが適しているのはシルクの靴下です。五本指ソックスもおすすめです。足指の動きが自由になることで血行の改善を促すことができ、冷え性対策に効果があります。疲労回復効果も期待できます。靴下を脱ぐ時間も大切です。長時間の履きっぱなしが、いちばんの悪影響です。暖心苑でも足先の冷たい利用者に対して、レッグウォーマーの着用、お湯を入れたペットボトルをタオル等で巻いて使用する、ブランケットを足に巻いて寝ていただくといった対応を行なっています。靴下を履くことが難しい利用者の方でも、様々な工夫から、足先の冷えの軽減や夜間の良眠につなげていければと考えています。

# 環境新聞

発行者

中田 五十嵐  
澤村 勇輝  
美千恵  
佳恵

第十一号

平成31年3月11日



## 保健課便り ～熱中症を予防しよう～

7月は「熱中症予防強化月間」です。

のどが渇いていなくてもこまめに水分・塩分を摂って熱中症を防ぎましょう。のどの渇きは、すでに脱水が始まっている証拠で水分摂取量は多くの方が不足気味。平均してコップの水をあと2杯飲めば、一日に必要な水の量を概ね確保できるそうです。

熱中症を予防する為に、・温度に気を配ろう・飲み物を持ち歩こう・休息をとろう・栄養をとろう・声をかけ合おう。の実践を。前日飲み過ぎず、寝不足せず、朝食をきちんと取って、マイボトルを持って、無理せず休息。いつもと違う様子があれば声掛けて。

水分補給について、ちょっと、水道水の宣伝を。全国の自治体・水道局で「おいしい水」・水道水の宣伝をしている事を知っていますか。東京都は「東京水」、千葉県は「ちばポタ」等、数多くあり都庁等で販売も。

東京都水道局では、品質・技術力ともに世界に誇る水道水のおいしさを、ペットボトル「東京水」を飲んで実感してください！そして、ぜひ家庭や職場の蛇口から、水道水を飲んでみてください。利根川水系の浄水場に順次導入を進めてきた結果、四半世紀の歳月を経て、平成25年10月に高度浄水100%を達成しました。これまでどうしても取り除けなかった水の中に残るごく微量のトリハロメタンやイヤなニオイや有機物をほぼ除去することができるため、より安全でおいしい水をお届けできるようになりました。との事です。

プラスチックゴミ問題のある昨今。マイボトルに冷えた水道水を持ち歩くのはいかがですか。



## 居宅介護支援事業所



ケアマネジャーはケアプランを作成する時に、ご利用者から様々なご相談を受けます。ケアプランは生活の設計図。目標の達成につながるサービスを組み込む事が大切です。あまり知られていないのが、居宅療養管理指導といって、ご自宅に医師・歯科医師・薬剤師などに訪問してもらい、薬の飲み方や食事など心配な事のご相談ができます。合わせて、訪問診療や歯の治療もしてもらえます。不安な事があればなんでもご相談ください。

## 白百合保育園様の訪問 6/13(木)



花の日の訪問で大勢の園児に訪問して頂きました。ご利用者は園児とふれあえて大変喜んでいました。

## 北葛西 熟年相談室 からのお知らせ

健康維持のためにフレイル予防が重視されている昨今みなさんは、介護が必要な状態にならないために取り組んでいることはございますか？

『介護予防教室』の紹介です。

4月29日(月)介護予防を祝日で始めて開催させていただきました。10連休の前半でしたが、テーマが体力測定とセラバンド体操で多くの方にご参加いただきました。

今後の日程については、広報えどがわに日時が掲載されます。関心のあるテーマがございましたら奮ってご参加ください。

**H31年4月より熟年相談室の名称に地域名が加わり変更となりました。**名称のみでこれまで同様、地域で暮らし続けるための熟年者の総合相談窓口の機能は変わっておりません。

【問い合わせ先】北葛西 熟年相談室 暖心苑  
電話：03-3877-0181



## 船堀 熟年相談室 からのお知らせ

江戸川区では認知症の方やそのご家族、地域住民などが集い、交流を図りながら認知症について理解を深めたり情報を共有するオレンジカフェ（認知症カフェ）が設置されています。船堀地区には2つのオレンジカフェがあります。お気軽にお立ち寄りください。

	暖心苑船堀カフェやかた	まどかカフェ
日時	奇数月の1日 14:00~15:30	偶数月の第2月曜日 14:00~15:30
場所	COFFEE 館(やかた) 船堀3-4-11	有料老人ホームまどか船堀 船堀6-11-24
料金	無料	無料
対象	認知症の方、そのご家族	地域の方誰でも



## ふれあいホール（一般型デイサービス）



フラワーガーデンにお散歩に出かけました。  
天候にも恵まれ色とりどりのバラを楽しまれ  
皆さんとても喜ばれていあました。



## くつろぎの間（認知症対応型デイサービス）

4階にあるくつろぎの間は屋上庭園に面しており、とても明るいお部屋です。くつろぎの間では型にはまった活動はなく、お一人お一人の興味、関心を探り、楽しみのある場を提供し皆様に有意義な一日を過ごしていただけるよう努めています。



ダンボールスタンプで藤の花を作成しました。



月1回の防災訓練。  
防災頭巾をかぶる練習も行います。



フラワーガーデンにバラを見に行きました。



職員による体操は、みなさんとても集中され真剣です。



趣味の編み物中です。  
とても手先が早く、すぐに仕上がっています。



## 新入職員紹介

デイサービス課長  
中川 次郎



特養 3階 介護職員  
グウェン ダン ロン



デイサービス介護職員  
立川 俊和



特養 3階 介護職員  
斉藤 雅子



特養 看護職員  
関谷 愛優



4階 介護職員  
小川 美穂



### 介護職員、送迎ドライバーを募集しています。ご応募お待ちしております

#### 特養常勤 介護職員

##### 資格

ヘルパー1級・実務者研修以上

または、福祉系専門学校・大学既卒者

##### 勤務時間

日勤 9:30~18:30

早番 7:00~16:15

遅番 11:00~20:00

夜勤 17:30~9:45

##### 給与

○専門・短大卒・介護士 220,000~  
(諸手当含む)

○大学卒 230,000~ (諸手当含む)

##### 待遇

○夜勤手当・交通費・住宅手当等有り

○社会保険完備、退職金制度・有給休暇有り

○賞与年2回(前年度実績4か月)、昇給有り

○処遇改善加算金有り ○経験加算あり

#### 特養非常勤 介護職員

##### ○資格

ヘルパー2級~

##### 勤務時間

日勤 9:30~18:30

早番 7:00~16:15

遅番 11:00~20:00

※応相談

※その他勤務時間・日数は相談に応じます。

給与 時給1,010円~ (資格により)

短時間の方も応相談

※処遇改善加算金有り

#### 特養非常勤 短時間勤務(介護)

##### ○資格

未経験者・無資格者のかたも可

※シフト交換、レクリエーション等間接的な介護

※勤務時間・日数は相談に応じます。

給与 時給 1,000円

#### 送迎ドライバー

#### 非常勤介護職員(運転業務)

時給:1000円~

予め電話連絡の上、履歴書(写貼)郵送又は持参下さい。

面接日設定は後日法人より連絡致します。

お問い合わせは

電話:03(3877)0100

採用担当:事務長 佐藤 まで

## 広報委員会

堀部美穂(相談員)、高宮正春(機能訓練士)、湯浅達也(介護職員)、野上美夏(事務員)、山崎進次(事務員)、関口浩太郎(施設長)

通信欄

様のご家族へ( / )

利用者担当

社会福祉法人 東京清音会  
特別養護老人ホーム 暖心苑  
暖心苑デイサービスセンター  
暖心苑さわやか相談室指定居宅介護支援事業所  
北葛西 熟年相談室 暖心苑  
〒134-8625  
東京都江戸川区北葛西4-3-16  
TEL 03-3877-0100 (代表)  
FAX 03-3877-0188  
TEL 03-3877-0181 (北葛西 熟年相談室 直通)  
船堀 熟年相談室 暖心苑  
東京都江戸川区船堀2-15-17ドウエル船堀102号  
TEL 03-5878-1521  
<http://www.danshinen.org>